

**主な出来事**

**【内政】**

●1月10日、アンゴラ交通・道路安全局は、南部アフリカ開発共同体(SADC)の基準を満たした新たなナンバープレートの発行を開始したと発表。

●1月19日、アンゴラ政府は、同日付大統領令第02/24号を以て、経済企画省の廃止及び右に伴う企画省の創設を含む中央省庁の組織・機能再編、及び閣僚人事等について発表した。

**【外交】**

●1月11日、アントニオ外務大臣は、オーストラリア、インドネシア、フィリピン、東ティモールの4か国に2024年に在外公館を開設することを発表した。

●1月23日、ロウレンソ大統領はアンゴラ駐在外交団向けの新年挨拶式典を開催。式典でのスピーチではアフリカ大陸で度々生じている憲法プロセスに則らない政権交代を批判しつつ、パレスチナ情勢、ロシア・ウクライナ情勢にも言及し、内政不干渉、国家主権、領土保全等の国際的な基本原則の重要性を強調しつつ、対話と外交を通じた緊張緩和に努めることが重要であると述べた。

●1月24日から25日、アントニー・プリンケン米國務長官がルアンダを訪問し、ロウレンソ大統領への表敬、ルアンダ科学センター訪問、米 Africell 社訪問のほか、アントニオ外務大臣との二国間会談を実施した。

**【経済】**

●1月1日、一部食料品に対する付加価値税(IVA)を14%から5%に引き下げが発効された。

●フィッチ・レーティングス社は、アンゴラの2024年の成長率を0.9%、2025年には1.5%に加速し、インフレ率は16.6%に減速すると予測を発表した。

●1月19日、アンゴラ中央銀行は、預金準備率を18%から20%まで引き上げることを決定した。

\* 本月報は当地主要紙 Jornal de Angola 紙を中心に、月末現在の報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです。

**内政**

**1. トロール漁の禁止に向けた動き**

1月10日、水産・海洋資源省は、資源量を保つためにトロール漁(底引網漁の一種)を禁止する方向で保安・法務当局と調整中であると発表。現状、違法操業が横行し、トロール漁を海底15マイル以上の底生種の漁業のみに限定している国内制度が守られておらず、アンゴラでは鰯をはじめとした海洋資源量が減少していることによるもの。

**2. 新たなナンバープレートの発行開始**

1月10日、アンゴラ交通・道路安全局は、南部アフリカ開発共同体(SADC)の基準を満たした新たなナンバープレートの発行を開始したと発表。アルナルド・カルロス国家警察総司令官は、新たなナンバープレートの導入により、駐車管理や盗難車の早期返却がより容易になると説明。今後2年間かけて新ナンバープレートへの交換が行われる予定。業者の見積もりでは費用は25,000~35,000

クワンザとなる見込み。

### 3. 国家海洋調整監視センターの設立

1月17日、ロウレンソ大統領は、ルアンダ州に設立された国家海洋調整監視センターの開所式に出席。同センターは、アンゴラの南北1,650 kmに渡る海岸線上の排他的経済水域の保護能力向上を目的とし、約7,000万米ドルをかけて設立された。

### 4. 中央省庁の組織・機能再編

1月19日、アンゴラ政府は、同日付大統領令第02/24号を以て、経済企画省の廃止及び右に伴う企画省の創設を含む中央省庁の組織・機能再編、及び閣僚人事等について発表した。ペドロ・フィエッテ大統領国家改革担当補佐官によれば、今次再編の目的は公共サービスの提供において高い効率を確保し、従前までの省庁間での業務重複をなくすことにあり、経済部門については工業商務省が引き継ぐとの由。

## 外交

### 1. 職業訓練センターの設立

1月12日、ロウレンソ大統領は、ウアンボ州に設立された職業訓練センター(CINFOTEC)の開所式に出席した。同センターは中国政府の支援により建設され、2万㎡の敷地内にはロボット工学、機械加工、IT、測定、自動車修理のための30の実験室と6つの作業場が含まれている。

### 2. アジア大洋州地域への新公館開設を発表

1月11日、アントニオ外務大臣はルアンダにて、アジア地域におけるアンゴラの地位を拡大することを目的として、オーストラリア、インドネシア、フィリピン、東ティモールの4か国に2024年に在外公館を開設することを発表した。併せて同大臣は、一部の在外公館長が自身の選んだ職員のみを配置したが、結果としてその他の職員の能力形成を阻害している悪しき慣行を撲滅し、外交職員のローテーションプロセスを改善することを強調した。

### 3. ガボンでの ECCAS 議長公邸への襲撃

1月19日、当地外務省は在アンゴラ・ガボン臨時代理大使を召喚し、1月18日にガボン・リーブルヴィルで発生したジルベルト・ダ・ピエダーデ・ベリッシモ中央アフリカ諸国経済共同体(ECCAC)議長(アンゴラ人)官邸襲撃事件についての説明を求めた。同事件に関し、エスメラルダ・メンドンサ外務副大臣は、事件への強い不快感を表明すると共に、真相究明及び同組織の安全確保、襲撃事件の犯人に対し厳しい措置を取るよう求めた。

### 4. 外交団新年挨拶式典の開催

1月23日、ロウレンソ大統領は、アンゴラ駐在外交団向けの新年挨拶式典を開催し、2023年における成果について述べたほか、アフリカ大陸で度々生じている憲法プロセスに則らない政権交代を批判。また、パレスチナの主権を擁護するとともに、ロシア・ウクライナ間の戦争を例に挙げ、国際関係の構造的原則、内政不干渉の必要性、国家の主権と領土保全を尊重することの重要性と緊急性を強調しつつ、交渉と外交を通じて国際的緊張の緩和に努めることが重要であると述べた。

### 5. ブリンケン米 국무長官の訪問

1月24日から25日にかけて、アントニー・ブリンケン米 국무長官がルアンダを訪問し、ロウレンソ大統領への表敬、ルアンダ科学センター訪問、米Africell社訪問のほか、アントニオ外務大臣との二国間会談を実施。今次訪問は、昨年11月末に行われたロウレンソ大統領とバイデン米大統領との首脳会談のフォローアップとして行われ、ロビト回廊の開発・拡大及び宇宙空間での協力における米国の取組等、共通の関心事項について意見交換がなされた。ブリンケン 국무長官は、アンゴラを「信頼できるパートナー」と認識し、両国間関係は過去30年間の協力関係においてかつてないほどに強固であると強調した。

## 6. ロシアとの新たな協力分野を評価

1月26日、アントニオ外務大臣は、ウラジーミル・タラロフ駐アンゴラ・ロシア大使の表敬を受け、二国間関係の現状と両国間の新たな協力機会の開拓について意見交換を行った。会談では、ロシアのソチで開催される外相グローバル・フォーラムや、新植民地主義の現代的慣行と闘う支援者フォーラムを中心に、国際的な議題についても協議した。

## 経済

### 1. 付加価値税(IVA)の引き下げ

1月1日、一部食料品に対する付加価値税(IVA)を14%から5%に引き下げが発効。市場では商品価格の低下が見られた一方、価格の低下は年末商戦で高騰していた価格が落ち着いたことが理由であるとの見方もある。

### 2. 2023年におけるロビト港の取引量の増加

1月9日、セルソ・ローザス・ロビト港取締役社長は、2023年のロビト港での取引が前年に比べて7.57%増加したと発表。351隻の船が寄港し、約133万トンの貨物が取扱われた。一方、ローザス社長は、ロビト港が抱える債務は320億クワンザ以上と引き続き高額であり、この状況を改善するために2024年は更なる努力が必要であると述べた。

### 3. リオ・テイント社との鉱業投資契約に調印

1月17日、アンゴラ政府は、英豪多国籍企業リオ・テイント社とモシコ州の約1万平方kmの土地における卑金属探査のための鉱業投資契約に約570万米ドルで署名した。アゼベド鉱物資源・石油・ガス大臣は、同社がアンゴラにおけるダイヤモンド採掘への投資のみならず、他の卑金属探査にも投資をおこなう約束を守ったことを強調しつつ、この成果を歓迎した。

## 4. 2024年第1四半期のインフレ率予想

オックスフォード・エコノミクスは、2023年12月にインフレ率が20%(2022年8月以来の高水準)に達したアンゴラの物価は、クワンザの切り下げによる悪影響がまだ続くとし、アンゴラの2024年第1四半期のインフレ率は23%まで上昇するという見解を示した。他方、アンゴラ中央銀行(BNA)は、アンゴラ経済のインフレ率は18.1%を下回る可能性があり、引き続き国民経済の安定化を目指すと発表している。

## 5. 2024年のアンゴラの経済予測

フィッチ・レーティングス社は、アンゴラの2024年の成長率を0.9%、2025年には1.5%に加速し、インフレ率は16.6%に減速すると予測を発表。2023年12月15日にアンゴラの格付けをB-に維持したことに関するより説明の中では、アンゴラ的主要な弱点として「原材料への依存度の高さ、債務返済コストの高さ、債務総額の約70%を占める公的債務の割合の高さ、人間開発とガバナンスの指標の弱さ、インフレ率の高さ、債務残高対GDP比率の若干の上昇を挙げている。

## 6. アンゴラ中央銀行による預金準備率引上げ

アンゴラ中央銀行(BNA)は、1月18日及び19日に開催された金融政策会合において、インフレ抑制を目的に預金準備率を18%から20%まで引上げることを決定した。なお、無担保コール翌日物に相当する中銀レートは従来のまま18%据え置きとなった。

(了)